



SDGsって?

国連で採択された「持続可能な開発目標」のこと。世界のさまざまな問題の解決に向けて設定され、2030年の達成を目指す。

世界の問題を身近な もしもで問いかけ

「SDGsの芽」は、「もしも〇〇だったら?」と、身近なテーマで子どもに疑問を投げかけます。「世界にはどんな問題があるのか」「なぜ解決しなくてはいけないのか」という気づきへと導きます。



あそびながらSDGsを考えよう!



SDGsは「みんなが安定して暮らし続ける」ための目標。世界中が協力しあって解決していかなくちゃいけないんだ!

17の目標 分の17セット!

「17の目標」それぞれに対応した、2枚組みのワークシートです。各目標について、クイズやすごろくなどであそびながら「自分だったらどうするか」を考えます。



目標1

「貧困をなくそう」



アイデア・監修は東京学芸大学附属世田谷小学校の現役の先生たちです。
小学生が興味を持ちやすい、身近な「もしも」で構成しています。

「SDGsの芽」の使い方

👤 「もしも」から「気づき」までの流れをチェック!

1 「もしも」で始まる身近な疑問を、自分に置き換えて考える

2 クイズ、すごろく、迷路など、あそび要素を盛り込んだしかけ



3 データや多様な価値観などを紹介

4 目標ごとの小さな「気づき」を押さえる

5 感じたことをまとめることで「気づき」を確認

目標6 「もしも、水道もトイレもなかったら?」

👤 大人向けガイドでポイントを解説!

👤 「チャレンジカード」に記録しよう!

記入例や、「気づき」へのポイントを解説

子どもの理解を促すための声かけのヒントに



1つ終わるごとに「チャレンジカード」に○をつける。17すべてのゴールを目指そう!



世界の問題は、自分の身近なものとかかわっていることに気づくはず。「どんな未来にしたいのか」を考えるっちょ!

みんなで一緒だとさらに深まる!

子どもの質問や疑問に大人が答えられなくてもOK。一緒に考えたり、調べたりしながら取り組みましょう。友達も含めみんなで話し合うことで、いろいろな考え方があり、気づきがさらに深まります。

自分にできる小さなことを、みんなで積み重ねていくことが、問題の解決につながるよ!

